

○評価区分と評価基準

評価の評価区分 自己評価Aと運営協議会	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

I 自主的・自立的な生活

児童の状況		自己評価 A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
集団生活のルールを守り、規律ある生活習慣を身に付けて生活しようとしている。また、地域に貢献しようとする意識が高まってきている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	校外学習や低学年の取組など、細かい活動も大切にしてほしい。引き続き、子どもハローワーク、幼保小の連携も充実を期待する。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	心のこもったあいさつについて、教師の期待度が数値化されている。様々な取組がなされており、来年度も継続した指導を。

学校評価の概要と 学校の改善策	【前期（→年度）】○毎朝元気にあいさつして登校する姿がたくさん見られた一方、進んであいさつができない児童も見られた。生徒指導部の働きかけや各学級での継続的な指導により、元気なあいさつができる児童が少しずつ増えてきている。→相手を意識した気持ちのよいあいさつ・言葉遣いにしていくために、引き続き継続した根気強い指導が必要と考える。 ○学校教育目標「届けよう 笑顔と幸せ」を実現するために、ふるさとキャリア教育を推進してきた。特に、本校の目玉である三大扇田元気プロジェクト（山コチンチョコ灯籠パレード・トワイライトコンサート・キッズマート）では、共感的・協働的な姿や、行事をやり遂げた充実感の高まりがたくさん見られた。→引き続き、子どもたちと共にふるさとキャリア教育を充実させていく。
	【年度（→次年度）】○あいさつ及び規範意識の徹底については、数値からも引き続きの指導が必要である。→この後も、「心のこもった挨拶」やよい行動に価値付けをしながら、自信をもたせる。○夢をはぐくむ授業では、夢揭示等の環境づくりや扇田のためにがんばる機会を通して、物事に粘り強く取り組む姿が見られた。→次年度も、自分の目標に向かって努力する活動を展開し、自己肯定感を高めることができるよう、指導に当たる。

	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと規範意識のある校内生活の励行	・あいさつ運動、継続的なあいさつ指導（学級・全校・地域・家庭） ・「扇田っこの約束」の徹底	3	3
2 夢やよりよい生き方の追究	(2) 「夢育て」による夢やよりよい生き方を考える機会の充実	・夢をはぐくむ環境 ・扇田のためにがんばる機会 ・キャリアパスポートの活用 ・子どもハローワークの奨励	3	3

1 基本的生活習慣の確立

(1) よりよいあいさつ、規範意識を目指した取組

- ・にっこりデー（毎月25日）のあいさつ運動
- ・あいさつ名人の選出
- ・あいさつの木運動の実施
- ・PTA 執行部によるあいさつ運動の実施
- ・児童一人一人への励まし、価値付けの声掛け

2 夢やよりよい生き方の追究
(2) 夢育て(ふるさとキャリア教育)による取組

- ・顔写真と一人一人の夢の掲示、夢カードの掲示等
- ・扇田元気プロジェクト(山コチンチコ灯籠パレード・トワイライトコンサート・キッズマート)
- ・比内地区小・中学校合同アルミ缶回収作業
- ・子どもハローワークへの奨励および取組紹介
- ・キャリアノート、キャリアパスポートの活用

1 基本的生活習慣の確立

*元気で明るいあいさつができる。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	63	25	10	2
年度	52	38	8	2

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	28	62	10	0
年度	33	59	8	0

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	8	77	15	0
年度	0	69	31	0



青少年育成市民会議の方々によるあいさつ運動



市日での太鼓演奏

2 夢やよりよい生き方の追究

*最後まであきらめず運動も学習もやり遂げる。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	64	28	6	2
年度	61	29	7	3

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	32	61	7	0
年度	43	51	6	0

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	92	8	0
年度	6	81	13	0



歩道の落ち葉掃き



全国学力・学習状況調査（6年）

Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

児童の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
互いに認め合い、切磋琢磨しながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。	前期	おおむね良好	良好	不登校がいないことが、何より素晴らしい。メディアの使い方については、引き続き地域、行政等と連携しながら呼びかけを。
	年度	良好	良好	不登校なしは素晴らしい。授業の雰囲気もたいへんよい。子ども同士のトラブル等にも迅速に適切に対応している様子が見られる。

学校評価の概要と学校の改善策	【前期（→年度）】○児童理解を深めるため、「児童を語る会」を毎週開催している。全職員の共通理解の下で、配慮が必要な児童や様々な事案の情報を共有し、組織で指導・支援に当たっている。→問題行動等の情報もあるが、児童のがんばりなどプラスの情報も共有する。また、「ハッピーメッセージ」と称して児童のよいところを見つけて付箋に書いて渡したり、一学期の通知票の所見欄に児童のよいところを記載したり、保護者からも子どものよいところを書いてもらったりする取組を行い、自己肯定感、自己有用感を高めている。→集団の中で自分の役割を果たす活動や異学年交流、学校を出ての活動等を積極的に進めていく。○読書の習慣化は、やや不十分である。→朝読書やお家読書等を中心に、読書を習慣化する取組を充実させる。他、PTA 図書部による「読み聞かせ」を実施する。
	【年度（→次年度）】○今年度も、様々な事案について打合せ等で常に職員全体で情報を共有し、チームで対応してきたことでどの事案も解決に至った。○特別活動の充実については、普段の清掃活動の他、花いっぱい運動や委員会活動、さらには比内地区各校合同でのアルミ缶回収の実施など、活動の充実を図った。○「楓の木カード」、「幸動ノート」や「ハッピーメッセージ」は、お互いを認め合ったり自己肯定感が高まったりしたことにつながっている。→児童のよい行いについてしっかりと価値付けしながら、子どもたちを賞賛し。自信をもたせる。○読書の取組については、2学期より昼読書から朝読書に時間を変えたことで、子どもたちが朝の落ち着いた環境で読書に取り組んでいる。→来年度も引き続きこのような形での活動としていきたい。

	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 思いやりの心と奉仕の態度の育成	(3) 互いのちがいを認め合い、ともに高め合う学級づくり	・児童を語る会 ・教育相談の実施 ・生徒指導の機能を生かした学級経営 ・道徳の時間の充実 ・幸動ノート ・ハッピーメッセージ	3	4
	(4) 思いやりの心と奉仕の態度を育てる特別活動の推進	・思いやりの楓の木活動 ・縦割り活動 ・異学年交流 ・比内地区合同ボランティア活動	3	4
	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	・昼読書の内容の工夫 ・おうち読書の奨励 ・読み聞かせ活動の充実	3	3

3 思いやりの心と奉仕の態度の育成 (3) 互いのちがいを認め合い、ともに高め合う学級づくり ・情報共有の場を設定した全職員による児童理解の徹底、ハッピーメッセージ、幸動ノートの充実 ・児童の声に耳を傾けたいじめの未然防止、早期発見、早期対応の徹底 ・共感的、協働的な雰囲気のある学級づくりと・自己有用感が高まる集団の絆づくり ・道徳教育の充実	3 思いやりの心と奉仕の態度の育成 (4) 思いやりの心と奉仕の態度を育てる特別活動の推進 ・思いやりの楓の木（随時） ・ペットボトルキャップ、プルタブの回収（随時） ・異学年交流による花いっぱい活動、清掃活動 ・幼保小交流 なかよし交流会 ・比内地区小・中学校合同アルミ缶回収作業 ・達子森登山 ・大館市子どもサミットに参加	3 思いやりの心と奉仕の態度の育成 (5) 豊かな心を育む読書活動の充実 ・カードの活用、昼読書の時間の設定、おうち読書の奨励 ・PTA 学校図書部による読み聞かせ会の実施と本の修理 ・読み聞かせサークル「読み聞かせの森」の方々をお招きしての読み聞かせの開催（予定）
---	---	---

3 思いやりの心と奉仕の態度の育成

* あたたかい心で人の話を聴いている。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	57	33	8	2
年度	44	48	6	2

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	27	60	12	1
年度	32	60	8	0

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	77	23	0
年度	6	75	19	0

* 読書の習慣が身に付いている。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	70	18	9	3
年度	60	32	7	1

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	21	47	30	2
年度	13	45	39	3

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	8	54	38	0
年度	6	56	38	0

* けじめと礼儀をわきまえている。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	56	34	7	3
年度	43	44	12	1

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	18	60	22	0
年度	24	55	20	1

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	54	46	0
年度	6	69	25	0



児童総会



比内子どもサ
ミットアルミ
缶回収
収益金の贈呈

* 大館市社会
福祉協議会
へ

Ⅲ 健康と体力

児童の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	メディアの使い方については、「時間を守って」も付け加えるとよい。好き嫌いについては、家庭との連携が不可欠である。
	年度	おおむね良好	良好	メディアの幼保小連携など、学校が取組が素晴らしい。今後は、保護者の意識が変わることや家族内でのルールの確立を期待する。

学校の評価の概要と改善策	【前期（→年度）】○体力向上のための取組として、ロングタイム（業間）を活用してマラソンタイムを設定し、実施した。また、6月に実施した体力テストの結果から、傾向を分析し、本校の強みや課題を把握した上で指導に当たっている。→運動に親しませることも念頭に置いて指導に当たる。○健康管理については、「保健だより」を定期的に発行しており、保護者から高い評価を受けている。○メディアコントロールについては、大館市一斉メディアコントロール週間、幼保との連携に取り組み、学校保健委員会でも話題にしていく。メディアの使い方については、課題も多いため、今後も引き続き家庭に対する働きかけが必要と考える。
	【年度（→次年度）】○今年度も、体育委員会主導でマラソン、なわとび運動を中心に体力づくりに取り組み、児童が自分の目標に向かって頑張る姿が見られた。→取組に個人差があるということ、期間が短いという意見があったため内容や期間を工夫し、取組を展開する。○メディアコントロールについては、養護教諭及び健康委員会が主体となり、「団らん・ラン♪」「メディアリデュース」等の取組から、家庭で健康的な生活を習慣化させることや、人との関わりの楽しさを感じさせる取組を進めていく。→メディアの課題については、「上手な付き合い方」について、引き続き保護者や幼保等と連携を取りながら継続した取組を実施し、よりよい方向に進めていくよう努める。

	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 健康と体力の向上	（6）体力づくりの推進と体育学習の充実	・ロングタイムのマラソン運動 ・体力テストの結果を生かした体育学習の取組	3	3
	（7）生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・調査結果を生かした生活習慣指導 ・メディアコントロールの取組（養護教諭や保護者、幼保の連携）	3	3

4 健康と体力の向上

（6）体力づくりの推進と体育学習の充実

- ・マラソン運動（カードの活用と強調期間の設定）
- ・外遊び、体育館遊びの奨励
- ・体育学習の充実（運動量を確保する多様な場を設定した授業）
- ・熱中症に留意した情報共有と指導及び声かけ
- ・新体力テストの実施と実施結果の配付（個人票）

4 健康と体力の向上

（7）健康的な生活習慣形成のための指導と家庭との連携

- ・「生活習慣アンケート」「歯磨きカード」で児童の実態を把握、結果の周知と家庭との連携、フッ化物洗口
- ・メディアコントロール週間、幼保小連携の設定
- ・集会での感染症予防（マスク着用）の呼びかけ



栄養指導



おそうじ名人



マラソン記録会

(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実

*進んで体力づくりに励んでいる。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	71	21	5	3
年度	65	25	6	4

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	32	62	6	0
年度	35	54	11	0

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	8	84	8	0
年度	3	81	16	0

*上手にメディアと付き合っている。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	47	33	14	6
年度	43	35	14	8

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	10	40	45	5
年度	14	48	36	2

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	8	23	61	8
年度	0	63	37	0

(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携

*好き嫌いをせずに給食を食べている。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	49	30	16	5
年度	48	35	10	7

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	42	43	11	4
年度	45	41	13	1

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	62	38	0
年度	0	75	19	6

*掃除にしっかりと取り組んでいる。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	75	21	3	1
年度	74	19	3	4

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	44	49	7	0
年度	47	50	3	0

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	77	23	0
年度	19	63	18	0

Ⅳ 基礎学力

児童の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
基本的学習習慣を身に付け、意欲的に学習に臨み、学力の向上に向けて取り組んでいる。	前期	おおむね良好	おおむね良好	子どもが小さいときから論理的に話せるように、家庭や地域との連携も大切にしてほしい。学習に向かう児童の姿がとてもよい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	回復指導の時期が年度末ということで、遅くはないか。将来の展望をもって、学習に臨む姿勢を大切に、指導に当たってほしい。

学校評価の概要と学校の改善策

【前期【→年度】子どもたち同士で協働して学び合いを深める時間「つきの木タイム」を設定し、協働的・共感的な学びを目指す。子どもたちが見方・考え方を働かせ、生き生きと学び、互いの考えを伝え合う授業を、算数科を中心に展開している。また、学びを支える共通実践として、学習の約束の徹底や家庭学習の習慣化を図っている。さらに、基礎学力向上のため、扇田学習タイム（OGT）やパワーアップミニなどの取組も行っている。→学び合いを活発にするためには、聴く指導にも力を入れ、共感的に考えを伝え合う雰囲気づくりが重要である。学習指導と学級づくりの両輪で活発な学び合いを目指していきたい。

【年度（→次年度）】○授業改善や学習の約束の徹底、家庭学習の習慣化、さらには扇田学習タイム（OGT）やパワーアップ学習などの取組を充実させたことで、12月に行われた県学習状況調査では、4年生、5年生が全教科で県平均を上回った。6年生は理科で県平均を上回ったが、国語・算数・社会では県平均を下回った。→今後、問題を分析しながら回復指導を丁寧に行うとともに、一時間一時間の授業の充実やICTを活用した学習を展開しながら児童の学力向上に努めていく。

	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 基礎学力の定着と深い学びの実現	（8）基本的学習習慣、望ましい学習規律の確立	・「学習の約束」の徹底 ・学習環境整備 ・家庭学習の習慣化（ノート展の実施・強調週間の設定）	3	3
	（9）県学習状況調査の前年度を上回る通過率の達成	・指導と評価の一体化 ・学習調査の分析 ・効果的な回復補充指導 ・個に応じた指導の工夫	3	3
	（10）表現力の育成・深い学びにつなげる学習活動の工夫	・言葉の力を身に付ける学び合い、対話による学び「つきの木タイム」の充実、単元構成の工夫、ICTの活用	3	3

5 基礎学力の定着と深い学びの実現

- （8）基本的学習習慣、望ましい学習規律の確立
- ・学習環境の整備、話し方、聞き方、声のものさし
 - ・「学習の約束」の徹底
 - ・月別重点目標の設定による学習習慣の徹底
 - ・学習の約束確認タイム
 - ・強調期間の設定（振り返りカードの活用）
 - ・家庭学習の習慣化
 - ・家庭学習強調期間の設定
 - ・家庭学習ノート展

5 基礎学力の定着と深い学びの実現

- （9）県学習状況調査の前年度を上回る通過率の達成
- ・チャレンジテストの実施（漢字、計算）
 - ・パワーアップタイムの設定（2学期に予定）



5 基礎学力の定着と深い学びの実現

- （10）表現力の育成・深い学びにつなげる学習活動の工夫
- ・実態と学習のねらいをリンクさせた単元構想の設定の工夫
 - ・「つきの木タイム」での対話による学び合いの充実



校内授業研究会（3年生算数、5年生理科）

(8) 基本的学習習慣、望ましい学習規律の確立

* 学習の約束が身に付いている。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	57	35	7	1
年度	45	42	12	1

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	19	64	17	0
年度	26	60	14	0

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	69	31	0
年度	6	81	13	0

* 確かな学力が身に付いている。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	51	33	12	4
年度	41	45	9	5

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	19	63	18	0
年度	23	70	7	0

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	54	46	0
年度	0	69	31	0



幼保小連携授業参観（１年生）



授業を見合う会（４年生）



全国学力・学習状況調査に臨む６年生



社会科見学（４年生）

V 安全・安心

児童の状況			自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント	
児童生徒の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期		おおむね 良好	おおむね 良好	地域との連携がよい。引き続き、通学路の点検、キョロリンの日（学校安全日）の取組、保護者への安全の奨励等をお願いしたい。	
	年度		おおむね 良好	良好	熊への対応は引き続き警戒を。安全マップの更新、子ども110番の家などの確認及び訓練等も実施してみてもどうか。	
学校評価の概要と学校の改善策	【前期（→年度）】○自転車乗車時、道路歩行時の指導を継続的に実施している。また、事故防止については、地域からの情報や校内で異変を察知したときにはタイムリーに集会や全校放送で指導し、注意喚起している。その成果もあり、今年度も大きな事故は発生していない。→今後も油断せず継続的に指導し、事故防止に努める。○キョロリンの日（毎月8日）には、スクールガードリーダーを中心に、関係機関、保護者の協力を得て安全指導を行っている。→地域の方々の協力により安全な登下校が身に付いてきている。○安全に関わる連絡が必要な際は、緊急メールを効果的に活用し、保護者への情報提供を行っている。→今後も継続しながら情報共有に努める。					
	【年度（→次年度）】○熊の出没回数は、昨年度に比べると格段に少なくなったが、12月上旬に学区で熊が出没したこともあり、まだまだ油断はできない。今年度は、全児童が市から貸与された熊鈴を活用しながら事故防止に努めており、引き続き警戒に当たる。→冬でも熊の出没が話題になっている。引き続き、「いつでも、どこでも熊と遭遇する」という危機感をもちながら情報提供及び安全確保に努める。○2学期末PTAと同日実施する予定であった引き渡し訓練は、インフルエンザの感染拡大により中止とした。→今後も危機管理を徹底し、事故防止及び緊急時の適切な対応に努めていく。					
	実践課題		主な取組		学校評価B	
					前期	年度
6 安全教育と安全管理の徹底	（11）安全教育の徹底による安全意識の高揚		・避難訓練 ・交通安全指導の実施 ・「扇田っ子の約束」の発行 ・メール等による啓発や注意喚起		3	3
	（12）地域や関係機関と連携した安全指導		・キョロリン隊やスクールガードリーダー、PTAとの連携 ・民生児童委員との情報交換 ・心肺蘇生（AED）訓練		4	4

6 安全教育と安全管理の徹底

(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚

- ・「扇田っ子の約束」に基づいた生活の約束の確認
- ・校内生活の約束（廊下歩行、時間遵守、遊び方の約束など）
- ・校外生活の約束（安全な登下校、帰宅時刻の確認など）
- ・夏休み、冬休み、春休みの過ごし方の約束
- ・キョロリンの日（毎月8日） 集団登校で通学路、歩き方の確認
- ・交通安全指導（随時）
- ・1・2年歩行指導 3年～6年自転車乗車に関する指導
- ・地震、不審者、火災を想定した避難訓練及び防犯教室
- ・引き渡し訓練の実施（インフルエンザのため中止）

6 安全教育と安全管理の徹底

(12) 地域や関係機関と連携した安全指導

- ・キョロリン隊やスクールガードリーダー等の連携
- ・PTA生活環境部、交通安全母の会、交通安全協会、警察署（交番）、スクールガードリーダー
- ・巡回指導の留意点や最近の状況などについて情報交換
- ・「キョロリンの日」は各地区登校班ごとに集団登校を実施
- ・熊の出没の迅速なお知らせと教職員による巡視



避難訓練（地震、不審者）

(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚

*安全意識が育っている。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	79	17	4	0
年度	75	19	2	6

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	20	52	26	2
年度	30	54	14	2

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	69	31	0
年度	0	100	0	0

*安全な廊下歩行、落ち着いた校内生活を送る。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	43	38	17	2
年度	35	54	10	1

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	23	47	27	3
年度	27	53	19	1

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	46	54	0
年度	0	75	25	0

(12) 地域や関係機関と連携した安全指導

*安全な自転車運転や道路歩行について。

【児童】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	69	26	4	1
年度	59	30	8	3

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	17	64	17	2
年度	30	54	13	3

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	0	69	31	0
年度	0	81	19	0



地震を想定した避難訓練



警察と連携して実施した不審者対応避難訓練

VI 保護者・地域との連携

児童の状況			自己評価 A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント		
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。		前期	良好	良好	学校が主体となり、限られた時間の中で地域や保護者等とすばらしい関係性が築けている。150周年事業も順調に進められている。		
		年度	良好	きわめて良好	学校、地域、保護者が一体となり、150周年事業は大成功であった。今後も「地域を元気にする学校」として、がんばってほしい、		
学校評価の概要と改善策	【前期（→年度）】○子どもたちの学びの様子を家庭や地域に伝える学校報「楓の木」を毎週発行している。タイムリーな情報発信と子どもたちの笑顔と幸せを届けていることで、保護者アンケートでも高い評価を受けた。さらに学年通信を隔週で発行し、活躍の様子や必要な情報を詳しく伝えている。→今後も継続していく。○地域の方々が学校の教育活動に熱心に協力してくださっており、子どもたちも地域と関わる様々な活動を楽しみにしている。→さらに効果的に活用できるように、活動のねらいをしっかりとって継続していきたい。						
	【年度（→次年度）】○後期は11月からホームページをリニューアルし、学校ブログも立ち上げ、現行の学校報「楓の木」や学年通信も活用しながら、タイムリーに学校的话题を提供してきた。また、児童の安全に関わる連絡は、緊急メールを活用し迅速かつ正確に情報発信している。→引き続き、学校や子どもたちの様子を情報公開し、各家庭や地域に「笑顔と幸せ」を発信していく。○11月9日に創立150周年記念式典を開催し、地域と共にある学校をあらためてPRし、たくさんの方々と一緒にお祝いをする事ができた。→引き続き、「地域を元気にする学校」をモットーに学校運営を進めていく。						
		実践課題		主な取組		学校評価 B	
						前期	年度
7 地域の教育力の活用		（13）定期的で効果的な情報交換		・各種お便り発行 ・保護者アンケート等による双方向の情報交換		4	4
		（14）保護者や地域住民など人材を活用した豊かな教育活動		・ゲストティーチャー、学習ボランティアの活用 ・地域の「もの・ひと・こと」にふれる体験活動の実施 ・創立150周年記念事業の推進		4	4

7 地域の教育力の活用

(13) 定期的で効果的な情報交換

- ・学校報「楓の木」及び学年通信の発行と配布
- ・保護者アンケート等による双方向の情報交換
- ・学校教育アンケートの実施（2回）と結果・対応の公表
- ・学校開放日の設定（7月・12月）
- ・教育相談日などによる生徒指導的情報の交換
- ・学級担任、カウンセラー等による教育相談
- ・民生委員訪問による情報交換
- ・各関係機関との連携（市教委、少年相談センター、福祉部子ども課、児童相談所、小中高幼保）
- ・ホームページによる情報発信（9月リニューアル）
- ・創立150周年記念式典挙行 11月9日（土）

7 地域の教育力の活用

(14) 保護者や地域住民など人材を活用した豊かな教育活動

- ・ゲストティーチャー・学習ボランティアの活用
- ・人とのふれあいを生かした体験活動の充実
 正課クラブ活動、講師による授業支援、FC教育授業、山コチンチョコ灯籠パレード、トワイライトコンサート、キッズマート



租税教育（6年生）



金融教育（4年生）

(13) 定期的で効果的な情報交換

* 効果的な学校の様子の情報発信について。

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	35	57	8	0
年度	45	52	3	0

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	23	69	8	0
年度	32	68	0	0

(14) 保護者や地域住民など人材を活用した豊かな教育活動

* 地域人材を活用した豊かな活動について。

【保護者】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	35	54	9	2
年度	39	55	6	0

【教職員】

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
前期	46	54	0	0
年度	56	44	0	0



盛大に祝った創立150周年記念事業